

水産海洋研究，県単独事業 (2015 年度の漁獲情報収集管理事業)

加藤美奈子*

漁業資源の適切な管理および利用を行うために、1989 年から関係漁協よりセリデータの提供を受け、漁協ごとに異なるデータを水産海洋技術センター漁獲統計システムにより統一的な形式に変換する行程（標準化）を経て、データベースに収録してきた（図 1）。平成 27（2015）年度にセリデータの提供を受けた漁協は 23 ヶ所であった。同年度登録されたデータは 1,011,719 件で、漁獲統計データベースに収録されたデータ数は約 4,462 万件になった。

また、漁獲情報収集管理事業で得られた情報及び水産海洋技術センターで整備している漁獲統計データベースから抽出したデータを利用し、「漁海況情報」（図 2）を月に 1 回を目安に発行し、県内漁業関係者に配布するとともに、当センターのホームページに掲載して、広く情報を提供した。2015 年度に発行した「漁海況情報」は、通巻 504～517 号であった。

この「漁海況情報」の左半分は、当センターホームページで提供している「海況案内人」と気象庁のデータを利用して、海面高度、表面温度の偏差、海流についての記載を行っている。なお、平成 26（2014）年 8 月号より、発行月のデータを記載することに変更した。以前は、「漁海況情報」を発行する時点での最新のデータを掲載していたが、その場合発行月と 1 ヶ月以上離れた期間の情報となっていたため、右半分に記載され

ている漁獲情報との比較対象が出来なくなっていたためである。

その右半分については、本県の主要漁船漁業の一つである「パヤオ漁業」（浮魚礁の周辺で行われるマグロ等の浮魚類を対象とした漁業の総称）での漁獲状況を記載し、その主要な漁期である夏期（7～10 月）は、主要魚種ごとに過去の漁獲状況と比較できる一覧表を掲載している。また、それ以外の時期は、パヤオ漁業に次ぐ、本県の主要な漁船漁業である「ソデイカ漁業」（ソデイカを対象とした漁業の総称）の漁獲情報を掲載している。

最下段には、「定置網」の漁獲情報について掲載を行っている。

県内の水産関係団体および漁協については、郵送での送付も行っている。さらに、一部漁協に対しては、必要に応じて漁獲データを取りまとめた月報および年報の送付を行っている。

海況については、「漁海況情報」の発行状況の都合もあり、その発行時期で最新の情報を掲載した「海況速報」（図 3）を作成しており、同時に郵送している。

これまでに発行した「漁海況情報」は、本所ホームページ URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/> において公開しているので参照されたい。

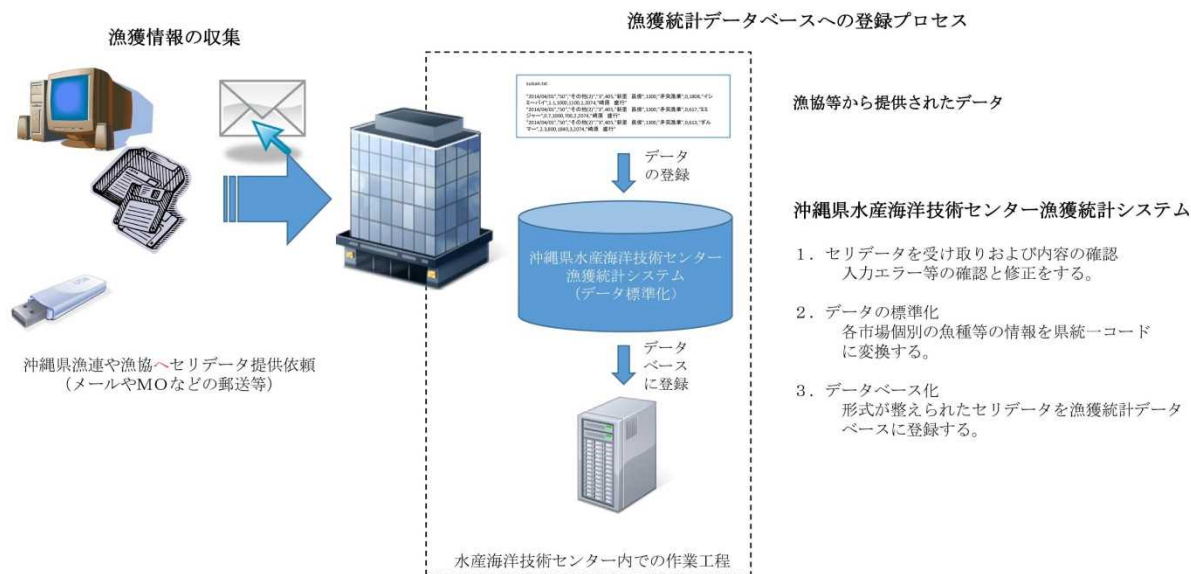


図 1 漁獲情報の収集と漁獲統計データベースへの登録のプロセス

*E-mail : katoumnk@pref.okinawa.lg.jp , 本所

